

2022 年度事業報告書

特定非営利活動法人 移動サービスアクセス

1.はじめに

世界を席卷した COVID19 もゴールデンウィーク明けからはインフルエンザ並の 5 類相当となり、社会はあっという間に見かけ上は元通りの生活に戻りつつあります。人々が心からこの時を待ち望んでいたことを感じるとともに、医療・福祉施設や日常生活に必須な様々なサービスを守ってこられたエッセンシャルワーカーと呼ばれる方々の努力を忘れずにいたいものです。

私たちの事業は今年度も同じような状況で、相変わらずキャンセルも多くありました。

2. 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

I. 移動制約者に対する外出支援を行なう福祉有償運送事業

内 容：だれでもいつでもどこへでも自由に外出できる社会をめざして

「車による送迎」と「介助」で外出支援

日 時：年間を通して

場 所：青葉区、都筑区、緑区を中心として

従事者人員：運転会員（11 名） 横浜市生活支援事業に必要な資格を有しています。

介護福祉士 2 名、ヘルパー 2 級（初任者研修）2 名、知的障害者ガイドヘルパー 9 名

受益対象者：利用会員 35 名（3 月末 28 名）

延べ実利用人数：351 人（月平均 29.25 人）（前年比 109%）

件 数：2,570 件（前年比 94%） 2,570 トリップ（前年比 93%）

月平均 214.17 人トリップ(1 人平均 6.12 回/月)

目的別内訳：①通 院	44 トリップ（前年比 69%）
②通学・通所（自費）	0 トリップ（前年比 0%）
（ガイドヘルプ事業）	2,422 トリップ（前年比 96%）
合 計	2,422 トリップ（前年比 95%）
③自費余暇（入居施設⇔自宅,お見舞等）	103 トリップ（前年比 118%）

活動時間： 1,319 時間（前年比 95%）

事業収入： 2,154,410 円（前年比 95%）

支 出 額： 2,299,290 円（前年比 101%）

○横浜市福祉有償移動サービス担当横浜市健康福祉局福祉保健課への報告等

福祉有償運送登録更新の手続きをしました。

更新登録申請と同時に 2014 年より 9 年間据置だった料金改定の申請も行ない、9/12 事務所にて実態調査を受け、11/30 横浜市運営協議会に書類を提出しました。

1 月 13 日の運営協議会にて更新登録・運賃改定が承認され、2 月から料金を変更しました。

「登録事項変更届」(車両の増減車)「年間輸送実績報告書」等 必要な届出書を提出しました。
 自家用有償旅客運送者登録証 有効期間：令和5年3月30日～8年3月29日

〔福祉タクシー券利用状況〕

昨年度に引き続き、横浜市在宅重度障害者福祉タクシー利用券取扱事業者として活動しました。

福祉タクシー券利用者：24名 利用枚数：1,505枚(前年比115%) 752,500円
 外出支援福祉有償運送ご利用料金の35%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用枚数	130	121	141	115	71	45	174	162	144	121	142	139	1,505

II. 「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」(通称 障害者総合支援法)に基づく移動支援事業

「通学通所支援」

内 容：「養護学校・支援学校」と「自宅・放課後等児童デイサービス等」間、
 「自宅」と「作業所・地域活動ホーム等」間を 車(福祉有償運送)で送迎

日 時：年間を通して

場 所：青葉区、都筑区、緑区を中心として

従事者人員：運転会員(11名)

受益対象者：利用会員のうち契約者数29名(通学5名 通所24名)

通 学：278件(前年比84%)

通 所：2,064件(前年比98%)

合 計：2,342件(前年比96%)

「移動介護」

内 容：グループホーム入居者の自宅との往復やショートステイ利用時の送迎

日 時：年間を通して

場 所：青葉区、都筑区、緑区を中心として

従事者人員：運転会員(11名)

受益対象者：利用会員のうち6名

件 数：80件(前年比94%)

収入合計：3,067,568円(前年比100%)

支 出 額：2,706,353円(前年比112%)

ガイドヘルプ事業におけるキャンセル件数：年間187件

Ⅲ. 「横浜市障害者ガイドボランティア事業事務取扱団体」としての事業

内 容：支援学校への通学支援、視覚障害者の外出サポート等「横浜市ガイドボランティア制度の周知」および「コーディネートの実施」

日 時：年間を通して

場 所：青葉区、都筑区、緑区を中心として

従事者人員：コーディネート 1名

受益対象者：支援対象登録者 3名

ボランティア登録数：7名

活動件数：346件（前年比 84%）

手数料収入：72,540円（前年比 80%）

支 出 額：243,700円（前年比 100%）

〔横浜市障害者ガイドボランティア事業の利用状況〕

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	34	31	35	17	2	39	35	34	28	30	38	23	346

Ⅳ. デイサービス施設の送迎受託事業

実施できませんでした。

Ⅴ. 生活の質を高めるためのお出かけプラン提供事業

コロナ禍において、お出かけツアーを企画することはできませんでした。

Ⅵ. 知識・技術の向上に関する共育・研修事業

内 容：「横浜市ガイドボランティア制度の普及」および「ボランティア参加者の拡大」のための研修会の開催

「横浜市ガイドボランティア研修会」

11/1 青葉区社協主催で視覚障害者支援者養成講座が3年ぶりに開催され、協力しました。

Ⅶ. その他、この法人の目的達成に必要な事業

支 出 額：14,000円

○オンラインでの定例会開催も定着し、出席率も高くなっています。

○福祉車両の譲受

かながわ福祉移動サービスネットワークが神奈川トヨタ自動車(株)から寄贈された中古福祉車両を譲り受けることができ、日々の送迎活動に活用させていただいています。経年により老朽化した日本財団助成の軽福祉車両は、日本財団への手続きを経て廃車としました。

○神奈川 W.Co 連合会との連携

隔月で開催された『神奈川 W.Co 連合会在宅福祉 W.Co 協議会移動サービス部門会議』に参加し他団体との活動の共有や情報交換を行ないました。

○(特非)かながわ福祉移動サービスネットワークとの連携

定例会において、道路運送法や道路交通法の一部改正について情報共有し、横浜市への報告書式変更や運行管理者の責務について、確認することができました。

全国移動ネットやかながわ移動ネットが主催する各種学習会の情報を共有し研修に参加し、内容を定例会でメンバーに共有しました。

10/13 運行管理者講習会 3/24 ベテランドライバー運転研修

○ 理事長が神奈川 W.Co 連合会選出枠の(特非)全国移動サービスネットワーク理事として以下の活動を行ないました。

定例の企画委員会(月1回)、理事会(年3回)、総会に出席しました。

市町村や社協が主催する「外出支援セミナー」等に講師やアドバイザーとして参加しました。

長野県小布施町、奈良県高取町、静岡県御前崎市、熱海市、伊豆市、吉田町、西伊豆町、函南町等

○青葉区移動情報センター推進会議参加 7/13

青葉区自立支援協議会 相談支援部会 5/27 7/29 9/22 11/9 自立支援協議会総会 3/9

○その他の「参加型福祉」のまちづくりに寄与する活動

他団体との連携、共育、交流に努めるため、以下の組織やネットワークの定例会議等や学習会に参加しました。

青葉福祉ユニット会議 5/12 移動について聞き取り 6/30 総会 11/8

○利用者の個別支援会議に出席 4/25 7/27 3/13

○神奈川県指定/認定 NPO 更新登録手続き

神奈川県指定有効期間 令和4年8月1日～9年7月31日

認定 2/1 5年分の会計書類等 市民協働推進課による実地調査を受け、更新が認定されました。

認定有効期間 令和5年2月1日～10年1月31日